

JICA 省エネルギー研修事業（チリ国銅産業業界）を実施しました。

一般財団法人省エネルギーセンターは、独立行政法人国際協力機構(JICA)様の委託を受けてチリからの研修員16名（政府関係者、民間業界団体、民間企業関係者）に対してH29.8.28～H29.9.8の間、日本の省エネ政策・技術を指導する省エネルギー研修事業を実施しました。

来日した研修生はチリ・省エネ推進政府機関及びチリの主力産業であり、大規模電力消費事業の銅製造関連企業が主体で日本の省エネ政策及び省エネ活動を理解し自国の活動参考とすることを目標としています。



1. プログラム構成

具体的には以下に示す個別目標を設定してプログラム構成を行いました。

1. 日本の全般的な省エネルギー政策と対策について理解する。
2. 日本の鉱工業の省エネルギー活動について理解する。
3. 日本の銅製錬工場の省エネルギーの取り組みについて理解する。
4. 日本の省エネルギー活動（政策・制度・技術）のチリへの政策導入および銅産業関係企業への導入可能性について検討を行う。

2. 実施内容

日本の省エネルギーに関して、日本の基本政策の情報提供からスタートし、鉱工業業界の動き、更に銅産業の動き、銅工場の省エネルギー活動と段階的な情報提供を行なった。

日本からも多くの企業がチリ銅産業界に対してその生産プロセスに関する製品輸出を行なっており、多くの企業に省エネルギーの観点から技術紹介も行なってもらった。

また日本の代表的な銅精錬工場を3工場を見学し、銅産業の省エネルギー技術について学んだ。

特に日本の工場に於ける小集団活動による組織的な省エネルギー提案活動には感動したと、研修生の意見が多くあった。